

コロナ新時代への提言～観光業界が今すべきこと～

新型コロナウイルスの感染拡大で、わが国の観光を取り巻く環境は一変。その中、観光業界は今どう進むべきか。観光業界の識者に業界関係者に向けての提言を伺った。



清水 嗣能氏

全日本ホテル連盟会長
ホテルリバージュアケボノ社長

「新しい物語を、観光業界から。」

「全日本ホテル連盟」は創立50周年を機に、名称を全日本ホテル連盟へと改めた。シティホテルの集まりではないからである。きっかけは50周年というところ、もう一つこれらの50年のあるべき姿を見直しMVVを策定したからである。この聞き慣れないMVVとはミッション、ビジョン、バリュー（行動指針）のことであり、ドラッカーやコトラーも提唱しているアメリカの企業は当たり前のように作っているものである。自分

「新しい物語を、観光業界から。」

最後、ホテル連盟は自らのMVVを凝縮し昇華した言葉やステートメントとして次のよう

「新しい物語を、ホテルから。」

このホテルから、というの

「新しい物語を、観光業界から。」

「新しい物語を、観光業界から。」



小田 與之彦氏

加賀屋社長

ポジティブな非日常の提供を

コロナ時代における旅行の形態は大きく変わることは、誰もが予測している。旅行が人々の心を明るくする役割を果たすべきである。ウィズコロナ・アフターコロナの時代は、これまで以上に近づいて癒やしと安らぎを提供していきたい。

観光業こそがポストコロナの時代に、日本人の心の一つに健康の力というものがあ

「新しい物語を、観光業界から。」

「新しい物語を、観光業界から。」



工藤 哲夫氏

東京都ホテル旅館生活衛生同業組合理事長
ホテルかずさや社長

外部環境に対応できること

思い返せば、この十数年は宿泊業のみならず日本経済も大きな下りの中を経過してきた。2008年のリーマンショックという、初めはアメリカの投資の破綻の話だと思っていたが、その影響は大きくアメリカを中心に金融システム

「新しい物語を、観光業界から。」

「新しい物語を、観光業界から。」



里見 雅行氏

日本ホテル社長
日本ホテル協会副会長

求められる価値は何か

訪日インバウンドの消滅に加え、新型コロナウイルス感染症の増加が繰り返されるたびに、ホテルは売り上げ低迷から脱却できず、経営悪化により大変な苦境に陥っている。その状況で、ホテルは安全で安心して過ごす空間を提供し、最も重要な言葉である「誠実」と「配慮」を大切に

「新しい物語を、観光業界から。」

「新しい物語を、観光業界から。」



内田 宗一郎氏

古屋旅館代表
熱海市観光協会副会長

「情報収集と仮説設定」

「新しい物語を、観光業界から。」

「新しい物語を、観光業界から。」



福田 金也氏

ジャパニーズ・イン・グループ会長
タートル・イン・日光代表

コロナ禍での現場の役割とは

100年前のスペイン風邪は、日本国内でも約2300万人が感染し、約38万人の死者を出し、終息には人口の6〜7割が免疫を持つ集団免疫が達成したためと記録されている。新型コロナウイルスでは感染者数が約58万人、死者数が約1万人(4月27日現在)、割合でみると感染者数が2.5%、死者数が0.6%程度であり、終息のためには集団免疫を達成するためには約70%の接種が必要となる。接種は海外では人口の約5割が終了した

「新しい物語を、観光業界から。」

「新しい物語を、観光業界から。」